

・三位一体後第四主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第二十六編」

あなたを知る人の上に

慈しみが常にありますように、

心のまつすぐな人の上に

恵みの御業が常にありますように。

## 喜びにあふれて旅を続けた

今日は諸聖徒記念礼拝です。壁に掲げられている写真を見ると、教会は素敵なところだと思えます。両親や祖父母のことを知らないという人はほとんどいません。でも、祖父母の両親、そしてそのまた両親となると、分からなくなってしまう。どんなに子どもがいたとしても、死んでしまふと忘れられてしまうのです。でも、教会は、諸聖徒を覚えていきます。ほとんどお会いしたことのない方々でも、この方たちの信仰の証を伺うと、自分のことのようにうれしくなります。そして、この方たちがおられなかったら、品川教会も、わたしたちも今ここにいなかったかもしれませぬ。

伝道者のフィリポは、神さまに導かれて、あるエチオピア人に出会いました。二人が出会ったとき、このエチオピア人は聖書を読んでいました。でも、読んでいた言葉は不思議です。これから殺されようとしている人の話です。殺されようとしているのに、じつと黙っているのです。

これは誰のことかという、主イエス・キリストのことです。主イエスは罪のないお方であられるのに、わたしたちの罪のために、苦しみを受けて殺されました。でも、じつと黙っておられました。それは、主は本当にわたしたちを愛して、わたしたちを救いたいと思われたからです。

人は死んでしまうと、いつか忘れられてしまいます。でも、主イエスが忘れ去られることはありませんでした。今日、全世界の教会で主イエスを覚えて礼拝しています。そして今も、主イエスを

信じて洗礼を受ける人がいます。神さまはわたしたちを救うために命を捨てられた主イエスに、もう一度命をお与えになり、そして、たくさんのお神さまの子どもをお与えになりました。

このエチオピア人は宦官でした。宦官というのは去勢された人、子どもを与えられない体にされてしまった人です。お金もあつて豊かな生活をしてきたかもしれませんが、でも、この人には子どもがいなかったため、自分が死んでしまつたら、それでおしまいです。一生懸命生きて、いつかは忘れられてしまうのです。生きていても仕方ない、神さまに見捨てられたと思つたかもしれませぬ。

宦官が読んでいたのはイザヤ書五三章の言葉ですが、この先を読んでいくと、神さまが宦官に、自分を枯れ木にすぎないと言つてはならないと言われます。子どもは与えられないけれども、息子、娘にまさる記念の名、決して消し去られることのないとこしえの名前を神さまが与えてくださるから、神さまがこの人のことをお忘れにならないからです。

この後宦官は、フィリポから洗礼を受けて、喜びにあふれて旅を続け、喜んで主イエスの話をして、たくさんの方が洗礼を受けたと思います。そして今も、エチオピアの教会では、エチオピアで一番はじめにキリスト者になったこの宦官の話喜んでしていると思うのです。

(使徒言行録八・二六〜四〇)



## メシア的に

イエス・キリスト、わたしの福音によれば、ダビデの子孫として生まれ、死者たちのもとより甦られた方。

テ モテへの手紙第二章八節

あなたが人となられたことの秘密は

計り知れないほどに深い。

詩人にして歌い手であるダビデ

姦淫者にして殺人者であるダビデ

その相反する遺伝子の中に

あなたは人となられた。

そのようにしてあなたは

遺伝的な重荷を負っているわたしたちの

懺悔となり、解放とされます。

ダビデの種族を受け入れてください、

あなたの躰の中へと。

それにより

イスラエルが王のようになり

エルサレムが、

世界の大きな喜びとなりますように。

あなたのキリスト教会をお救しく下さい。

あなたの躰を忘れ

イスラエルが、そのメシアを覚えて

メシア的になることを

いつも妨げておられますことを。

キリストは死んで復活された。その出来事は我らのために起こった。そこにその二つのものの力とその実り、すなわち復活の力と死の力が明らかにされる。根本的に大切なことは、こうした事柄について聖書が決して冷静な報告者としては語らぬこと、常にその実りを考慮していることである。

カ ルヴァン

R・ポレン著 「祈る」より

楠原博行氏の訳による

## 今日のお知らせ

○今日は諸聖徒記念礼拝です。すでに眠りについた諸聖徒を記念し、その写真を掲げて礼拝をします。

○第一礼拝の報告の最後に、教会学校の一学期終業式を行います。

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーマービスがあります。園舎二階のリズム室ではどのような会が開かれ、礼拝で受けた恵みの分かち合いをします。

○第二礼拝後、ホールで讚美と報告の後、諸聖徒を記念する会をします。聖徒と遺族を紹介します。

○お昼は愛餐会です。今日のメニューは、穴子ちらし寿司、松風焼き、わかめの酢の物、お吸い物、フルーツです。ご期待ください。

○一六日（火）午後五時半から、日本キリスト合同教会委員会が品川教会で開かれます。委員はご参加ください。

○一九日（金）朝一〇時半～一二時まで、シオンの会がシオンルームで開かれます。雪ノドカテキズムの問三九～四二を学びます。新しい方の参加を歓迎します。

○コイノニアキャンプで着用するポロシャツのお渡しを行っています。ご注文された方は、事務所までお越し下さい。

第一礼拝 讚美歌21 409番

詞：山本謙、1896-1985

ECUMENICAL  
曲：高田三郎、1913

1 すくいのみちをひらいたイエスをい  
2 じだいはうつりふうどはかわり、主  
3 おわりのときがせまるにつれて、世

しずえとしてはじ-められ、すくいのわざをう  
にあるたみはわか-れても、みことばをのべと  
のなみかぜはさわ-いでも、みくにをもとめ主

けついでき-た主のきょうかいはただひとつ。  
にもパンをさ-く主のきょうかいはただひとつ。  
をまちのぞ-む主のきょうかいはただひとつ。

聖書の会

●今学期は終了しました。

次週礼拝

●第一礼拝(午前9時30分)

讚美歌 讚21 205番 讚21 409番

説教「窓から落ちた青年」

聖書使徒20章7-12節

説教者 古村和雄 牧師

●第二礼拝(午前11時10分)

讚美歌 11番 307番

詩篇 36篇

説教「祈り続ける主」

聖書マルコ1章29-39節

説教者 菊池美穂子 副牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 205番

讃21 409番

説教 「救いはあなたにも」

聖書 使徒11章4節～18節(新約P235)

司式 山名隆史 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲 「主なる神よ、いま天を開き給え」 J.S.バッハ

○ 讃21 205番

1. 今日<sup>けふ</sup>は光<sup>ひかり</sup>が 送<sup>おく</sup>られた日<sup>ひ</sup>よ  
闇<sup>やみ</sup>の中<sup>なか</sup>にも 「光<sup>ひかり</sup>かがやけ」
2. 今日<sup>けふ</sup>は 樂<sup>よろこ</sup>なる 安<sup>やす</sup>息<sup>いき</sup>の日<sup>ひ</sup>よ  
疲<sup>つか</sup>れた心<sup>こころ</sup> 新<sup>あらた</sup>にさされる
3. 今日<sup>けふ</sup>は 平<sup>へい</sup>和<sup>わ</sup>が 満<sup>み</sup>ちあふれる日<sup>ひ</sup>  
あそい騒<sup>さわ</sup>ぐ 疲<sup>つか</sup>れしづまる
4. 今日<sup>けふ</sup>は 神<sup>かみ</sup>に 其<sup>その</sup>に 祈<sup>いの</sup>る日<sup>ひ</sup>  
心<sup>こころ</sup>を 高<sup>たか</sup>く 前<sup>まへ</sup>に 上<sup>あ</sup>げよう
5. 今日<sup>けふ</sup>は 主<sup>きり</sup>イエスの よみがえりの日<sup>ひ</sup>  
われらを 生<sup>な</sup>かす 愛<sup>あい</sup>を たたえよ アーメン

○ ヴィオラによる讃美

「アリオート」 J.S.バッハ

○ 讃21 409番

1. すくい<sup>すくい</sup>の道<sup>みち</sup>を 開<sup>ひら</sup>いたイエスを  
いしづえとして はじめられ  
すくい<sup>すくい</sup>のわざを 受<sup>う</sup>けついできた  
主<sup>きり</sup>の教会<sup>かきうかい</sup>は ただひとつ
2. 時代<sup>じだい</sup>は うつり 風土<sup>かぜつち</sup>は かわり  
主<sup>きり</sup>にある民<sup>たみ</sup>は 分<sup>わか</sup>かれても  
みことばを のべ ともにパンを さく  
主<sup>きり</sup>の教会<sup>かきうかい</sup>は ただひとつ
3. おわりのときが せまるにつれて  
世<sup>よ</sup>のなみかぜは さわいでも  
み国<sup>みくに</sup>をもとめ 主<sup>きり</sup>を 待<sup>まち</sup>ちのぞむ  
主<sup>きり</sup>の教会<sup>かきうかい</sup>は ただひとつ アーメン

## 第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 7番 488番

詩篇 第36編(旧約P867)

説教 「死者の復活を信じる」

聖書 1コリント15章12節～20節(新約P320)

司式 山名隆史 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「フーガハ長調」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 7番

○ ヴィオラによる讃美

「アリオート」 J.S.バッハ

○ 聖歌隊による讃美

「主にありてぞ 讃美歌361番

主にありてぞ われは生くる  
われ主に主われに ありてやすし  
主にありてぞ われ死なばや  
主にある死こそは いのちなれば  
生くるうれし 死ぬるもよし  
主にあるわが身の さちほひとし  
われ主に主は われにありて  
天こそとこよの わが家となれ アーメン

○ 讃美歌 488番

聖餐曲 「メモリアルピース」 H.パーリー

後奏曲 「聖徒のあとにつきて」 L.スミス

聖餐曲 「もまなくかなたの」 編曲：C.パーリー

後奏曲 「聖徒のあとにつきて」 L.スミス